

|           |            |
|-----------|------------|
| 学 校 名     | 調布市立深大寺小学校 |
| コーディネーター数 | 5人         |
| ボランティア数   | 80人        |

□ 活動の概要

学校支援地域コーディネーターを中心に、学校ボランティアを募り、以下の4つの分野を柱として学校教育を支援する活動を行っている。

○学習活動の支援

授業補助・体験学習・習字など

○学校行事等の支援

防災教育の日・運動会・学芸会・展覧会・持久走大会

○学校環境の整備

樹木剪定・芝刈り・草取り・芝養生期間の昼休み児童管理・テニスボール穴あけなど

○安全・安心の確保

食物アレルギー対応・就学時健診のアレルギー相談支援

あいさつ運動・地区登校班・校外学習



持久走伴走



そば学習  
(そば組合)

□ コーディネーターの役割

- ・学校における教育支援活動等の連携についての調整、学校や学校関係者、地域の団体等との連絡調整、地域の協力者の確保・登録・配置、活動プログラムの企画等を行う。

□ 活動上の工夫や配慮等

- ・地域コーディネーターは、その業務を行うにあたり、児童や学校の状況、ニーズをよく把握する必要があるため、学校のよき理解者であるとともに、地域に精通している方をお願いしている。
- ・学校内に「学校地域支援本部(地域コーディネーター室)」を設置し、コーディネーターが、学校や地域の支援ボランティアとの連絡・調整・打ち合わせ等に自由に活動できるようにしている。
- ・児童の活動に直接かかわる支援ボランティアに対しては、児童への接し方、言葉遣い、服装等、学校という場を考えた言動の重要性を事前にしっかりと説明しておくとともに、活動を通して知り得た児童の個々の情報を決して他言しないことを徹底している。
- ・月に1回定例会を開き、支援の計画・立案や進捗状況の確認、学校からのニーズの確認等を行っている。

□ 活動の成果や感想 (実践を通じた児童・生徒、地域の活動者、学校等の声や反応など)  
(成果)

- ・児童一人一人の体験内容が充実しており、保護者からも高い支持を得ている。
- ・児童が多くの方々とかわる機会が増え、社会性を学ぶことができる。
- ・PTAや開放・健全との連携が、スムーズに図れている。
- ・学校担当者が、直接発掘・依頼・連絡・調整することがなくなり、他の教育活動へ専念できる環境が整っている。

(課題)

- ・後継者の育成が進んでいないため、新たな人材を育成することが必要である。